

士声明

我々は学費値上げに反対する

現在、学上問題にうけて法大理事会と学生自治会との間で、教団の団交が重ぬられ、問題の全学的規模で論議されようとしている。我々理事会も、組合員の生活、権利の擁護という立場から、学上問題に無感心でないのはもちろんの事、生協の本来的精神に裏付けられた姿勢で積極的な発言の場を求めると同時に、この六月、我々は組合員^の生活と権利を擁護する為、今秋に予想される授業料を主とした学上値上げに対しては総代会の決定に基づき、強く反対することを声明する。

関係各団体と密接な連絡を保ち一組織者としての役目を十分遂行していく決意を固めたのである。一方、組合員の現状はどうかあるのか。政府自民党の反国民的諸政策の全面的展開の中で苦しんでおり、世の中、その経済面に於ける圧迫は、日々増大し、学上の自由を詭譎すべき学園生活に深刻な問題を投げかけている。

この苦難の波に抗して生協は、終始一貫して組合員の生活と権利を擁護する立場から発言し、行動してきたのであり、過去の更なる奮闘も我々のこの姿勢は決して向違っていないことが証明されるであろう。

そうした意味から、今進んでいる学上問題についてその本質を十分に見極めると共に、組合員を増々窮地に落しめる授業料を主とした学上の値上げには、まったく反対である意を表明せざるを得ない。同時にあらゆる機軸をとらえて、進んで発言していくことを重ねて声明するものである。

右声明する。

昭和四十一年十月十八日

明治大学消費生活協同組合理事会